

第4章 景観資源・景観阻害要素調査

八重瀬町景観計画を策定するための基礎資料として、町内の景観資源及び阻害要素について現況を把握する必要がある。

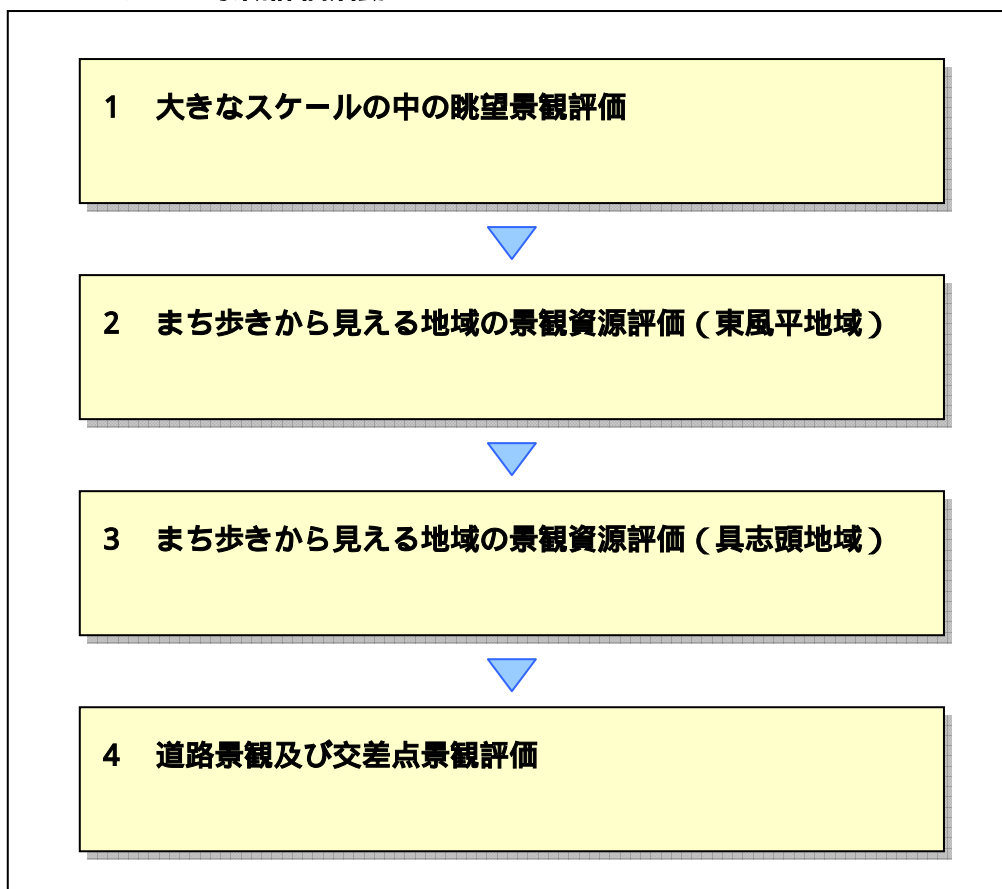
現況調査は、事務局による現地踏査だけでなく、地域で生活する住民の価値観（日常の生活を通じた住民の目線）から八重瀬町の景観を評価し、問題点や課題の抽出、どのような部分を景観計画へ反映させ得るのか等を分析する必要がある。

そこで、住民や町職員によって構成する「八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議」（以下、「YKV48」とする。住民等30名で構成。）を組織し、現地調査等による景観評価活動を行った。

また、これら調査活動と併せて、住民の景観に対する意識啓発の取り組みとして八重瀬町景観写真展を開催した。

以下にYKV48の活動フローを示す。

YKV48による景観評価活動



1 大きなスケールの中の眺望景観評価

(1) 調査の概要

- ・日時：平成23年1月23日(日)10:00~14:30
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議メンバー22名
都市建設課5名、コンサルタント3名

1) 調査目的

八重瀬町の地形的特徴、地形を活かした漁業、農業、暮らし、眺望点と眺望景観の評価

空間的骨格をつくる緑地、河川、海岸・海、丘等の自然景観の評価

上記の景観を構成している要素、阻害している要素の評価

2) 調査地点

西部プラザ公園(小城馬場広場の展望台)	八重瀬岳(八重瀬公園)
勢理グスク・富盛の石彫大獅子	具志頭城址
多々名グスク	ギーザバンタ

3) 調査方法

八重瀬町内の主要な眺望地点からの眺望景観を評価する。

各地点の眺望景観を13の評価項目に沿って、「かなり良い」「良い」「どちらでもない」「悪い」「かなり悪い」の5分類で評価し、景観を構成する要素、景観を阻害する要因、ランドマークとなる対象物の存在等を評価する。

評価項目	内容
1.近景	約200m以内で望む眺望景観
2.中景	約200m~1kmで望む眺望景観
3.遠景	約1km以遠で望む眺望景観
4.総合評価	近景、中景、遠景の総合評価
5.自然性	自然が残っているか、緑化(沿道、屋上、ベランダ等)の割合など
6.眺望性	見通しがよい景観か
7.親近性	身近に感じる景観か、親しみを感じる景観か
8.利用性	いつでも、誰もが利用しやすいか(アクセスの容易さなど)
9.快適性	心地よい眺望場所か
10.歴史性	拝所、御嶽等があり、八重瀬町の歴史性を感じ取れる景観か
11.固有性	八重瀬町固有の、特徴のある景観か
12.生活・文化性	地域の生活や文化等を感じるか
13.審美性	美しい景観か

4) 評価方法

評価した結果に以下の点数を割り当て、平均点を算出する。

かなり良い	良い	どちらでもない	悪い	かなり悪い
5点	4点	3点	2点	1点

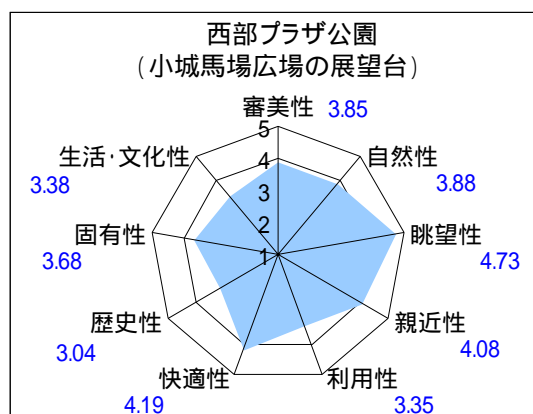
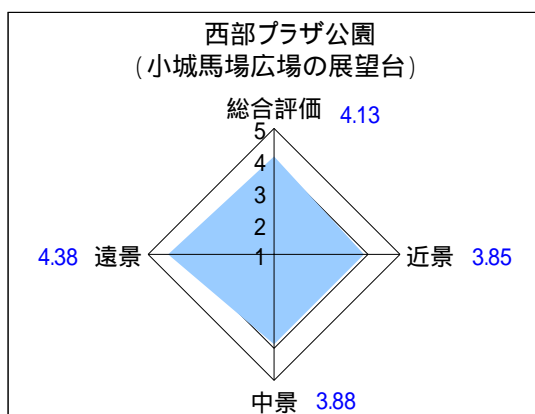
(2) 調査結果

調査地点 西部プラザ公園（小城馬場広場の展望台）

眺望景観写真



景観評価結果



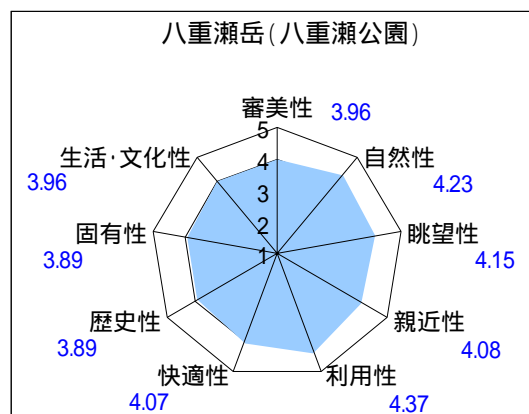
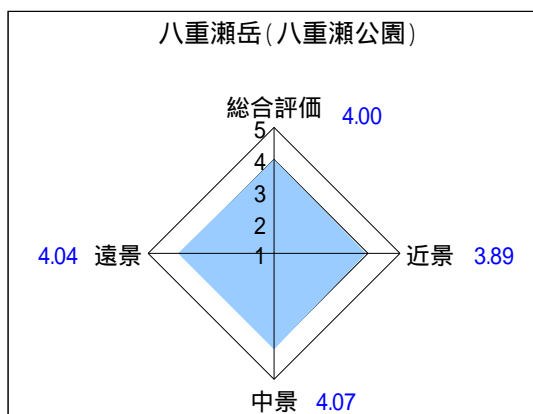
景観障害要因	小城体育館（8票）、南部水道の貯水タンク（現在建設中）（13票）、電線・電柱（3票）、鉄塔、豊見城団地、県庁方向の赤瓦アパート、建設中のアパート、ビニールハウス、墓、東側の木、小道の多さ（行き止まりも多そう）、駐車場が無い
ランドマーク (地域の目印・シンボル) となる対象物の存在(候補)	ビニールハウス（白も美しい）（4票）、慶良間諸島（4票）、渡嘉敷島、海（2票）、田園風景（2票）、さとうきび畑（3票）、畑、農地、土地改良されて区画整理された畑、非農用地、玉城の山々、平面地の間に所々見られる小高い丘、緑が豊かである（畑、自然の木林等）、体育館（2票）、東風平運動公園体育館（3票）、白川小学校（2票）、貯水タンク、豊見城団地、NHKタワー（2票）、公園の展望台、視野300度

調査地点 八重瀬岳（八重瀬公園）

眺望景観写真



景観評価結果



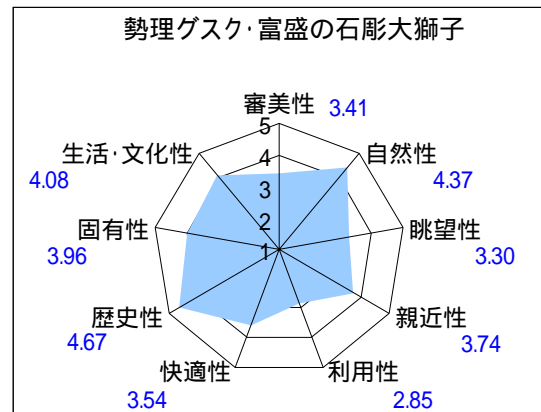
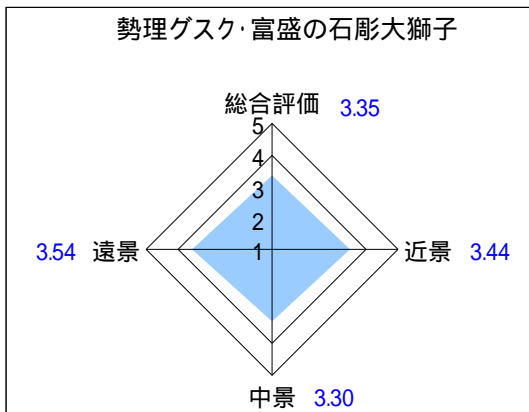
景観障害要因	<p>駐車場下のゴミ（４票）</p> <p>小城住宅地の屋根の色が目立つ</p> <p>住宅の色合いにバラつきがある（２票）</p> <p>自衛隊宿舎、豊見城団地（２票） 鉄塔、養鶏場、山に大きな建築物、手前の荒れた林等</p>
ランドマーク （地域の目印・シンボル） となる対象物の存在（候補）	<p>八重瀬岳、桜、高台、玉城の山々、連なる山々、森（ムイ）（５票） 緑、田園風景（２票） 畑（４票）</p> <p>風水の特徴が見られる、まとまった集落、昔ながらの家（瓦屋根の家） 御嶽・拝所・墓（歴史が感じられる）</p> <p>高良交差点までの街路樹、東風平中心市街地、南部工業高校（４票） 東風平運動公園体育館（２票） NHK タワー</p>

調査地点 勢理グスク・富盛の石彫大獅子

眺望景観写真



景観評価結果



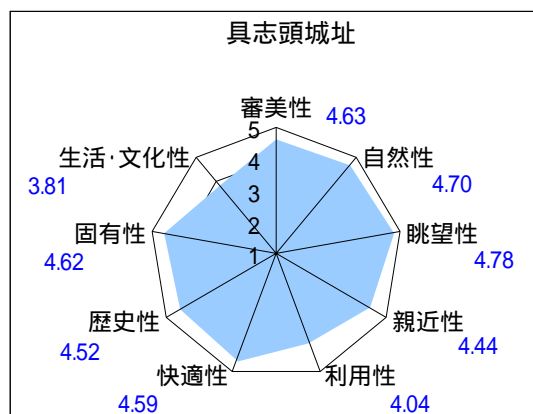
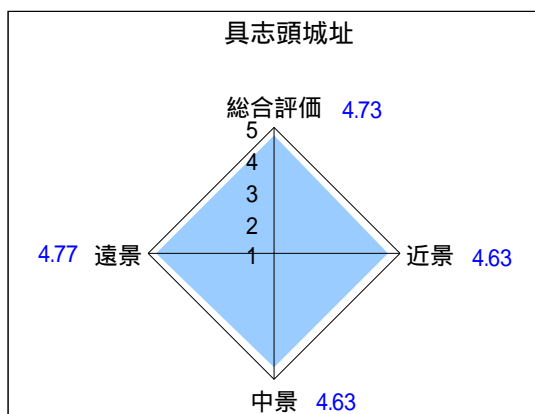
景観阻害要因	南部工業高校(14票)、部落の建築物のコンクリート化、周囲の木々(5票)、獅子がどこを向いているか分からない、周囲が丘に囲まれており遠景が見えづらい、原野、体育館、裏手の墓、アプローチ途中の小屋、遠景の企業局のタンク、集落の住宅の形態、トイレが無い
ランドマーク (地域の目印・シンボル) となる対象物の存在(候補)	石彫大獅子(9票)、南部工業高校(5票)、玉城の山々(2票)、連なる山並み、精霊を感じさせる毛(御嶽、お墓のある)がいくつもある、点在する森々、森と集落、多い緑、ガジュマル、デイゴ(大木)

調査地点 具志頭城址

眺望景観写真



景観評価結果



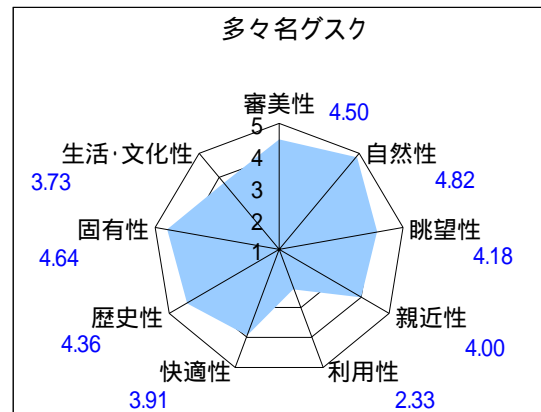
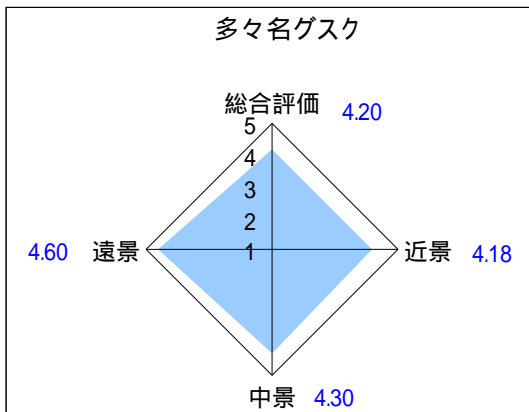
景観阻害要因	畜舎（6票）、畜舎の悪臭（14票）、 港川の護岸、漁港の防波堤（コンクリート） ゲートボール場、立入禁止の看板、大きい展望台、 山の上の建築物（遠景）
ランドマーク （地域の目印・シンボル） となる対象物の存在（候補）	海（6票）、水平線（4票）、海岸（4票）、崖（バンタ） （5票）、浜辺（2票）、イノー（2票）、岩・琉球石灰 岩（6票）、久高島（3票）、波の音、 山々（玉城）、ゴルフ場（4票）、ゴルフ場の建物、 港川漁港（2票）、慰霊塔、洞窟の地形、180度

調査地点 多々名グスク

眺望景観写真



景観評価結果



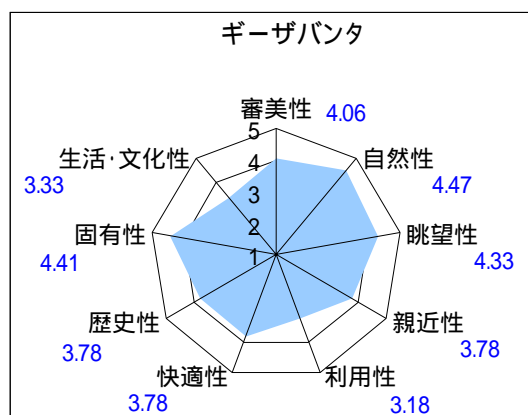
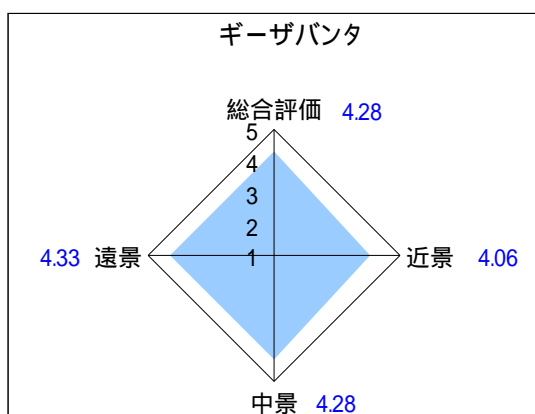
景観阻害要因	整備をしてないので利用が難しい空間（歩道、足場が危険、雑木）
ランドマーク （地域の目印・シンボル） となる対象物の存在（候補）	水平線、太平洋の眺望、海岸、 洞窟（自然体験の観光資源となりうる）（2票） 具志頭・多々名城の緑地帯、 具志頭城跡の石積、古層の歴史、フィッシャー、 遊歩道、ゴルフ場、体育館、テニスコート

調査地点 ギーザバンタ

眺望景観写真



景観評価結果



景観阻害要因	眺望箇所としての整備（危険防止柵等の設置） 崖の上のゴミ、 落石
ランドマーク （地域の目印・シンボル） となる対象物の存在（候補）	海（3票）、イノー（2票）、水平線（2票）、珊瑚礁、 崖（バンタ）（5票）、岩（プリ）（2票）、波、 久高島（2票）、ゴルフ場、地下ダム、歴史、 玉城の山々

2 まち歩きから見える地域の景観資源評価

(1) 調査の概要

東風平地域

- ・日時：平成23年2月6日（日）10:00～13:30
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議メンバー18名
都市建設課4名、コンサルタント3名

具志頭地域

- ・日時：平成23年2月19日（土）10:00～13:30
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議メンバー15名
都市建設課4名、コンサルタント4名

1) 調査目的

- ①都市化が進む市街地の景観の現況評価、旧集落に残る景観資源等の評価
- ②市街地や集落から望む緑の山並み（稜線）等の自然景観の評価
- ③上記の景観を構成している要素、阻害している要素の評価

2) 調査エリア・ルート

東風平地域

①東風平～伊覇・屋宜原エリア

ルート：金満御嶽→馬場跡、西ヌ方の獅子→獅子保管場所→東風平之殿→綱保管場所
→子ヌ方の獅子、龕屋→国道507号→伊覇・屋宜原の住宅地

②志多伯～当銘～小城エリア

ルート：午ヌ端の石獅子→馬場跡、西ヌ端の石獅子→町営西部団地→志多伯神谷の門
構え→ウフカー→中ヌカー→ニーサー石→西部プラザ公園→龕保管場所→
当銘のガジュマル

具志頭地域

①具志頭エリア

ルート：本庁舎→白水川→自然橋→屋富祖井→具志頭集落→フクギ並木

②港川エリア

ルート：雄樋川大橋→港川集落→農村公園、港川コミュニティ供用施設→港川漁港→
港川フィッシャー

③安里～坡名城エリア

ルート：馬場跡→東江ヌルドゥンチ→新殿地公園→座嘉武原遺跡、殿武林→考神堂→
座嘉武井→上江門家→石獅子→世持井

3) 調査方法

- ①八重瀬町内の特徴的なエリアをいくつかピックアップし、実際のまち歩きから景観資源を評価する。

東風平地域では、2班に分かれて①東風平～伊覇・屋宜原エリアと②志多伯～当銘～小城エリアをそれぞれまち評価する。

東風平地域では、全員で①具志頭エリアを評価し、2班に分かれて②港川エリアと③安里～坂名城エリアをそれぞれ評価する。

②まち歩きをしながら、各エリアの景観資源や景観阻害要素等、景観に関して気づいた点・気になる点等をポストイット（付箋紙）に記入し、評価する。

（２）調査結果

次頁より、それぞれのエリアでの評価の意見をまとめた景観資源評価図を示す。

景観資源評価図
東風平地域-東風平エリア

YKV48活動の概要
2011年2月6日(日)
10時00分～11時40分(晴れ)
人数：9人

その他
・カー(井)やシーサー等の史跡の周辺に線をつけて欲しい
・住宅地域と農業地域との境界の管理をどうするか
今後の課題
・通行人、すれ違う住民の方がよく声をかけてくれる
(東風平のコミュニティがつくる風景が良い)
・静けさがあって中学校からの部活動の声がよく聞こえる



・歴史を感じる住宅だが改築される可能性があり、
どのように保全するかが課題である×3件
・松の木、モクマオウの枯木が気になった
・伝統的な赤瓦住宅と屋敷囲いが
とてもよく、周辺景観とマッチしている×2件



獅子の場所が分かりにくい
●子ヌ方の獅子
●籠屋

東風平の城(グスク)、長田の石畳が緑と調和して良い
公民館周辺の旧集落内では民家にあまり桜が見られない。
東風平公民館前のゲートボールの囲いはグッドアイデアだと思う

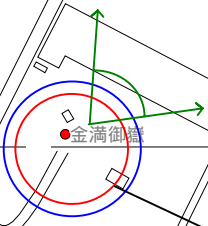


馬場と獅子の解説があると関心も高まる

案内板(字東風平の人口・世帯数)が見苦しい

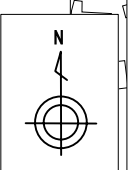
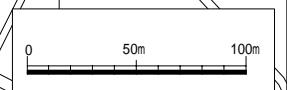


赤瓦家と共同住宅が隣接し、昔ながらの集落形態が壊れつつある(伝統と近代のバランスが悪い)



・金満御嶽を中心とした農地の雰囲気が良い×2件
・高台からの農業風景がとても気持ち良い×2件
・御嶽、拝所等の清掃・管理が必要。×3件
・桜等植栽がほしい。
・身近に感じない

美しい景観や良好な景観
景観を阻害しているものや好ましくない景観
集落内の馬場
眺望ポイント
類似意見は一つにまとめ、指摘数の分、円を重ねて表示



景観資源評価図
東風平地域-伊覇・屋宜原エリア

YKV48活動の概要
2011年2月6日(日)
11時40分～12時20分(晴れ)
人数：9人



県営屋宜原団地

- 国道507号
- 中央分離帯のヤシの植栽部分にコンクリートではなく芝生等緑を敷き詰めてほしい。
 - 八重瀬らしさを感じない樹木が多い
 - 植栽したばかりで街路樹が低く緑が少ない
 - 歩道に立木(緑)が少ない×2件
 - 歩道が全てアスファルトで無機質な感じ。石畳風な歩道づくりを。
 - 車両進入防止用のコンクリートポール(車止め・ポロード)はデザインの特異性がない!(例:富盛のシーサーをデザインに)
 - 国道507号沿道の屋外広告物の乱立×4件
 - 国道507号の電柱・電線×2件
 - バス停に赤瓦屋根の休憩所を作って欲しい



国道507号上がり-1



国道507号上がり-2

- 住宅の外観
- 建物のデザインに統一性がない。
 - 沖縄伝統の瓦等に統一しても良いのでは。×3件
 - 建物の色を景観に配慮する色とした方が良い×2件

- その他
- 駐車場の設計のあり方の再考(雨水浸透性、芝ブロック等)
 - 集落内のアタイグラー(小規模な農地)は心が和むと思うので、ある程度必要だと思う
 - 住宅の向きにバラツキがある。団地式(建物の向きが同一方向)であれば、きれいな街並みになる。
 - 高層住宅がなく空が大きく見える。(低層住宅の規制効果)

県営屋宜原団地の屋根がみっともない

公園としてもう少し整備が必要

アパートが多すぎる。植栽が少ない。洗濯物等が外から目立つ。アパートは木を植えることを義務にすべき。

コンクリート造が目立ち緑が不足し、落ち着かない。冷たい感じがする

旧集落とは異なりコンクリートと緑が調和する地区計画の景観が良い。



伊覇地区内のアパート-1



伊覇地区内のアパート-2

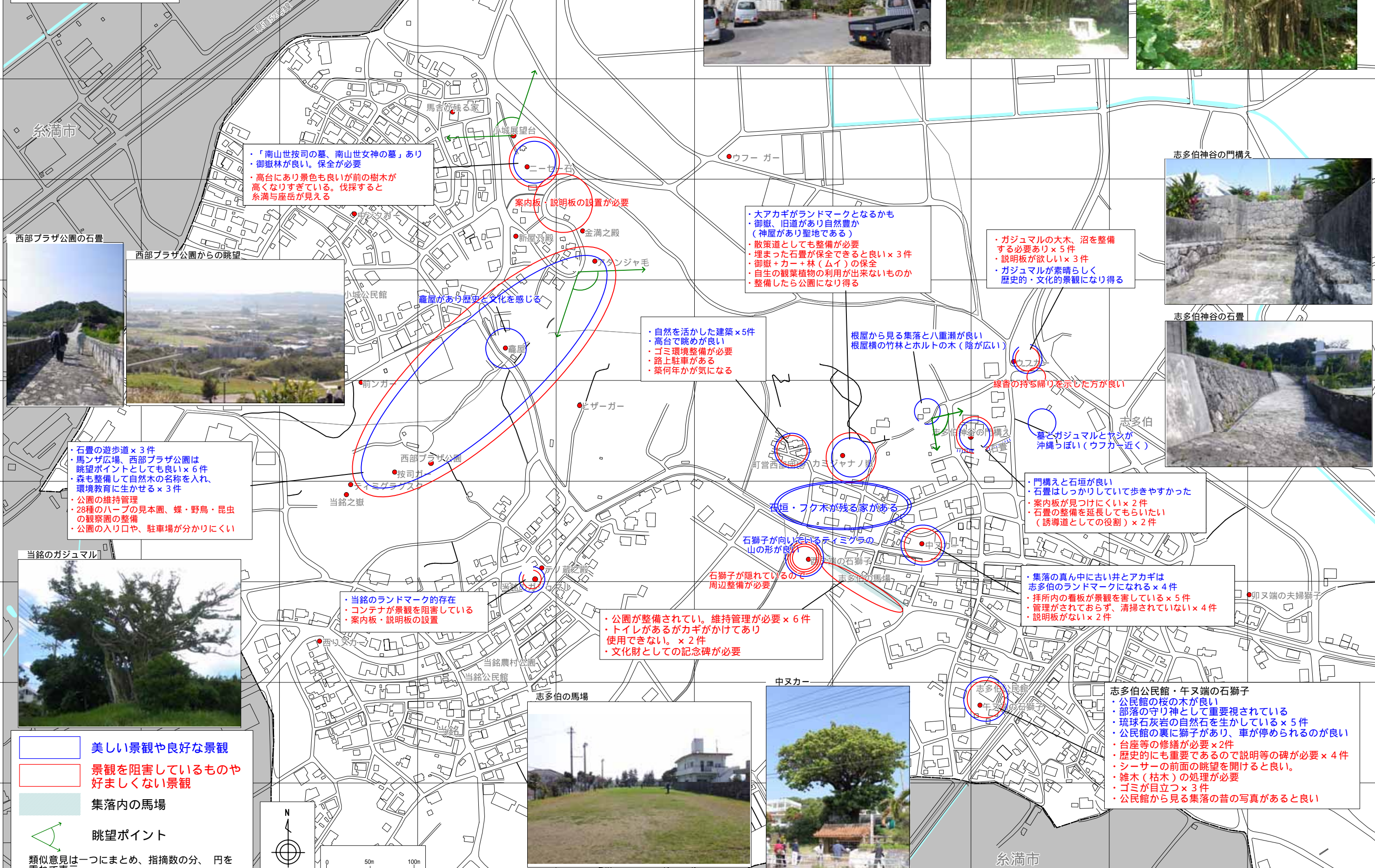
美しい景観や良好な景観

景観を阻害しているものや好ましくない景観

類似意見は一つにまとめ、指摘数の分、円を重ねて表示

景観資源評価図
東風平地域-志多伯~当銘~小城エリア

YKV48活動の概要
2011年2月6日(日)
10時00分~12時30分(晴れ)
人数:13人



・「南山世按司の墓、南山世女神の墓」あり
・御嶽林が良い。保全が必要
・高台にあり景色も良いが前の樹木が高くなりすぎている。伐採すると糸満と座岳が見える

案内板・説明板の設置が必要

・大アカギがランドマークとなるかも
・御嶽、旧道があり自然豊か(神屋があり聖地である)
・散策道としても整備が必要
・埋まった石畳が保全できると良い×3件
・御嶽+カー+林(ムイ)の保全
・自生の観葉植物の利用が出来ないものが
・整備したら公園になり得る

・ガジュマルの大木、沼を整備する必要あり×5件
・説明板が欲しい×3件
・ガジュマルが素晴らしく歴史的・文化的景観になり得る

・自然を活かした建築×5件
・高台で眺めが良い
・ゴミ環境整備が必要
・路上駐車がある
・築何年かが気になる

根屋から見る集落と八重瀬が良い
根屋横の竹林とホルトの木(陰が広い)

線香の持ち帰りを示した方が良い

墓とガジュマルとヤシが沖繩っぽい(ウフカー近く)

・門構えと石垣が良い
・石畳はしっかりしていて歩きやすかった
・案内板が見つけにくい×2件
・石畳の整備を延長してもらいたい(誘導道としての役割)×2件

・集落の真ん中に古い井とアカギは志多伯のランドマークになれる×4件
・拝所の看板が景観を害している×5件
・管理がされておらず、清掃されていない×4件
・説明板がない×2件

・公園が整備されている。維持管理が必要×6件
・トイレがあるがカギがかけてあり使用できない。×2件
・文化財としての記念碑が必要

志多伯公民館・午又端の石獅子
・公民館の桜の木が良い
・部落の守り神として重要視されている
・琉球石灰岩の自然石を生かしている×5件
・公民館の裏に獅子があり、車が止められるのが良い
・台座等の修繕が必要×2件
・歴史的にも重要であるので説明等の碑が必要×4件
・シーサーの前面の眺望を開けると良い。
・雑木(枯木)の処理が必要
・ゴミが目立つ×3件
・公民館から見る集落の昔の写真があると良い

・石畳の遊歩道×3件
・馬ンガ広場、西部プラザ公園は眺望ポイントとしても良い×6件
・森も整備して自然木の名称を入れ、環境教育に生かせる×3件
・公園の維持管理
・28種のハーブの見本園、蝶・野鳥・昆虫の観察園の整備
・公園の入り口や、駐車場が分かりにくい

・当銘のランドマーク的存在
・コンテナが景観を阻害している
・案内板・説明板の設置

石垣・フク木が残る家がある

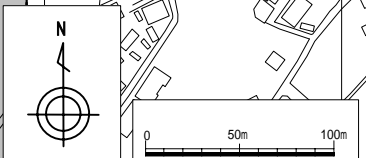
石獅子が向いているテイミグラの山の形が良い

石獅子が隠れているので周辺整備が必要



美しい景観や良好な景観
景観を阻害しているものや好ましくない景観
集落内の馬場
眺望ポイント

類似意見は一つにまとめ、指摘数の分、円を重ねて表示



景観資源評価図
具志頭地域-具志頭エリア

YKV48活動の概要
2011年2月19日(土)
10時00分～11時30分(曇り)
人数：19人

国道331号沿いのフクギ並木



フクギ並木の石獅子



その他

- ・自然橋から屋富祖井までを親水公園のように再整備。散歩コースを設定する。
- ・音楽スタジオが周辺の景観を考えた、建物づくりをしている。
- ・歴史と美しさは観光のスポットになる。
- ・屋敷から望む、山々の景観は将来に残すべきであると感じる。
- ・石垣の保存活用(新垣家、野原家、集落内の古い屋敷)
- ・自然に咲く珍しい花があり、保存を考えたい。
- ・電柱が景観をダメにしている。

自然橋



白水川



屋富祖井



自然橋

具志頭中校歌に「歴史は流し、白水川・・・」とある。
・橋周辺だけでも、多自然型の整備ができないか。×2件
・遊歩道としての利用が思い浮かぶが、現状は暗くてさびしい。
・歴史(音)から重要な道として利用された。
・川の流れて自然にできた橋で、生物等理科学習の場になれる。
・橋が見える下への道路の確保(近くから状況がわかりにくい)
・ごみ、雑草、水たまりあり。管理が必要。
・琉球石灰岩に木が茂っている為、将来石をこわしそう。
・ガードレールを偽木に変え、周辺の整備をすると良い。×3件
・花木等(テッポウユリ)での環境美化が必要。

国道の歩道の白舗装はよいと思う。道路擁壁も石積み風にするのもっとよい。

ヒンブンや栗石の石積みが良い

ノウゼンカズラが美しい

・国道331号沿線の植栽はクワオミではなくフクギを推薦する

遊具が使用されず放置されている。

八重瀬町全体含めて、馬場跡の説明板がほしい。

地域住民の定期的な清掃によって、美化されている。

フクギ並木をもっときれいにすべき。管理が不十分に思う。石積み等で再整備。

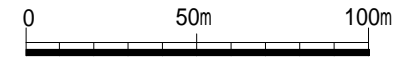
・白水川を多自然型に整備した方がよい。
・三面張りを変更×4件
・フェンスのサビが見苦しい。
・並木等植栽があれば、景観が変わる。

りっぱな殿内があるが、石垣とマッチした建物にすると素晴らしい。(現在はプレハブ・コンクリート造りになっている。)建替を考え、町で助成してほしい。

琉球の歴史に残る住居跡があり石垣が古い石積みで出来ている。

屋富祖井

・自然が残っており、石垣に寄生する植物が素晴らしい。
・水性生物がいて、学習の場になれる×3件
・石積みが素晴らしい。×2件
・石量があるので、井戸への階段も石畳風の整備をしては。
・石畳は良い。
・通路はせまいが、よく環境美化されて気持ちが良い。
・集落から井戸におりる道は、昔のまま残っている。
・後ろにある森の風景が良い。
・屋富祖井周辺のフェンスは改善が望ましい。親水性をもたせられないか。×6件
・出入りに柵をするなど、対象物はできるだけ現状で残す工夫。
・ブロックが必要。ペットボトルの処理。
・カーへの道は散策路として、整備してほしい。



 美しい景観や良好な景観
 景観を阻害しているものや好ましくない景観
 集落内の馬場
 類似意見は一つにまとめ、指摘数の分、円を重ねて表示

景観資源評価図
具志頭地域-安里～玻名城エリア

YKV48活動の概要
2011年2月19日(土)
11時30分～12時50分(曇り)
人数：11人

- 公園として整備されているが、部活との役割を示す説明があるとよい。
- せっかく整備しているが、草刈り・ゴミ回収など、地元地域の意識を高めたい。×2件
- 石積みが素晴らしい。

- 東物、敷地を含め文化財として残すとよい(町が助成できないか)×6件
- 上江門の周囲の風景・緑が豊か
- 昔の「カヌヤマヨ」の風景になっている
- カラオケの映像に使用されている



- その他
- 史跡等の整備をする手法等の検討が必要
 - 道路がせまいと感じる。災害時等心配
 - 具志頭～安里まで、全体的に見て古民家(空家)の管理・活用を早急に対策すべきだと感じた
 - 文化財・史跡等に説明板があるとよい×3件
 - 上江門周辺は、さまざまな歴史・文化があるので、安里のランドマークとして位置付けができるとよい
 - 住宅のほとんどは、敷地が広く立派な庭、植栽が印象的
 - 東江、新殿地、殿武林 拝所 心の故郷 折りの復現
 - 殿武林-棒術：なぜやるのか説明板や勉強会をする機会を作る

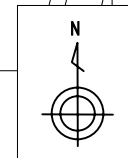
座嘉武原遺跡
殿武林
キャンプ・パワースポット、殿武林になりそうな場所(アカキ・ガジユマル)

根屋
東江スルドウンテ
古い民家 風情がある。敷地を含め、文化・歴史性がある。

閑散としている。後の山や畑はずばらしい。

安里の馬場
コンクリートとアスファルトによって昔の面影が残っていない

世持井
ゴミが目立つ為清掃が必要
水の綺麗さはありませんが、活用したい。(農業用水等)



- 美しい景観や良好な景観
 - 景観を阻害しているものや好ましくない景観
 - 集落内の馬場
- 類似意見は一つにまとめ、指摘数の分、円を重ねて表示

3 道路景観及び交差点景観評価

(1) 調査の概要

- ・日時：平成 23 年 3 月 4 日（金）19:00～21:30
- ・参加者：八重瀬町景観資源発掘ボランティア会議メンバー15 名
都市建設課 5 名、コンサルタント 3 名

1) 調査目的

- まちの軸線である道路景観及び交差点景観の評価
- 緑のネットワークとしての街路樹の評価
- 上記の景観を阻害している要因、沿道景観として評価できる要素の評価

2) 調査地点

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 国道 507 号 八重瀬町入口（南風原町側） | 国道 507 号 字伊覇付近 |
| 国道 507 号 字富盛付近 | 県道 52 号線 字世名城付近 |
| 県道 77 号線 字東風平付近 | 具志頭交差点（国道 507 号・331 号） |
| 国道 331 号 字具志頭付近 | 国道 331 号 字玻名城～字安里付近 |
| 国道 331 号 八重瀬町入口（南城市側） | 国道 331 号 八重瀬町入口（糸満市側） |
| 県道 15 号線 字仲座付近 | |

3) 調査方法

八重瀬町内の主要道路及び交差点からの沿道景観を調査し評価する。スクリーンに各調査地点の写真を映して評価した。

各地点の沿道景観を 11（交差点は 12）の評価項目に沿って、「かなり良い」「良い」「どちらでもない」「悪い」「かなり悪い」の 5 分類で評価し、景観を阻害する要因、沿道景観として評価できる要素等を評価する。

評価項目		
1.車道空間と路面	2.中央分離帯や歩道の舗装	3.歩道空間と幅員
4.ガードレールや車止め	5.信号機や道路標識等	6.街路灯
7.電柱や電線	8.街路樹や植栽	9.沿道の建築物や畑等
10.沿道の看板・サイン等	11.総合的な審美性	12.歩道橋（具志頭交差点のみ）

4) 評価方法

評価した結果に以下の点数を割り当て、平均点を算出する。

かなり良い	良い	どちらでもない	悪い	かなり悪い
5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

(2) 調査結果

調査地点 国道 507 号 八重瀬町入口 (南風原町側)

沿道景観写真

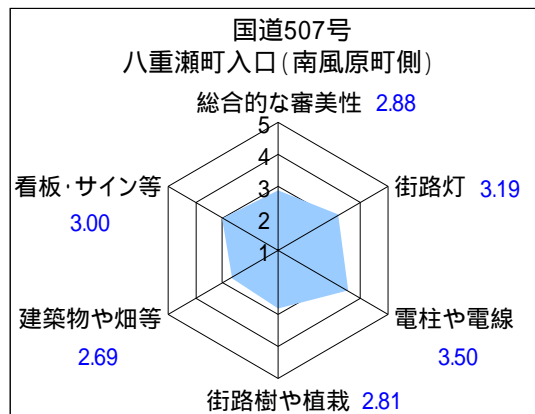
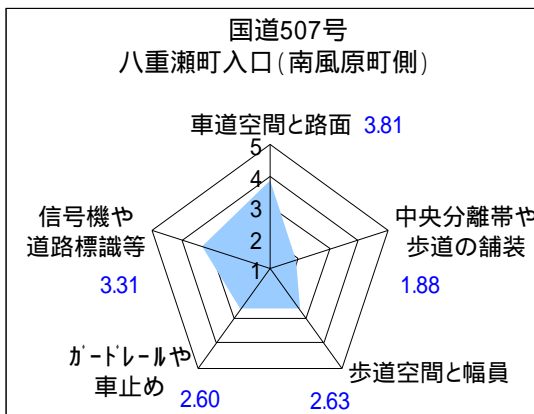


南向け



歩道

景観評価結果



景観阻害要因	歩道のヒビ割れ(危険)(10票) 中央分離帯と歩道の雑草(8票) 植栽が維持管理されていない(2票) 歩道と中央分離帯の植栽に統一感が無い 歩道が暗い、ガードレールの状態 街路灯がさびしい、アパート、色(花)が欲しい
沿道景観として評価できる要素	車道が広い(4票) 緑が多い 街路樹の植栽と緑が良い 街路樹のアカタコノキは南国風で良い 沿道に看板が少ない、街灯が良い 田園が広がっているのどかである

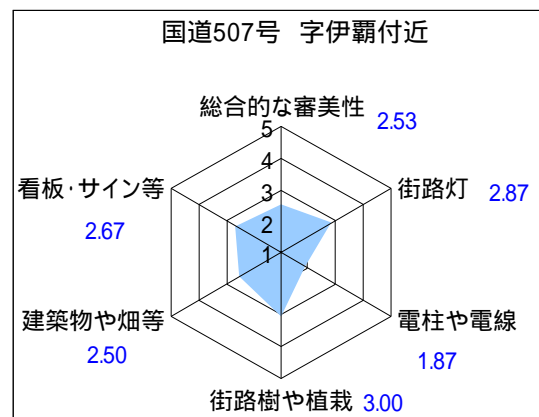
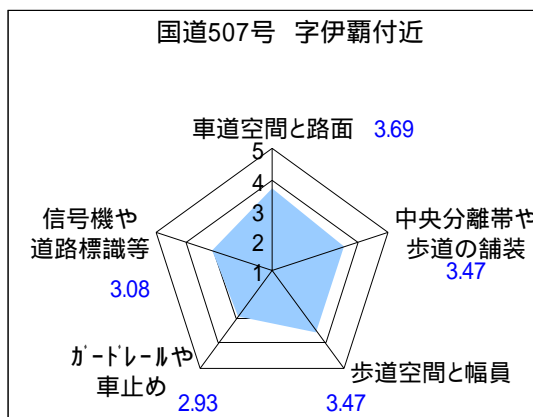
調査地点 国道507号 字伊覇付近

沿道景観写真



南向け

景観評価結果



景観障害要因	電線・電柱（11票） 緑が少ない（5票） 建築物に統一感が無い（3票） 看板の乱立（2票） 街路灯（2票） 駐車（2票） 雑然としている シンボルマークがほしい 歩道と空間の幅員があいまい
沿道景観として評価できる要素	中央分離帯の街路樹のヤシ（5票） 道路幅員が広い（3票） 派手な色の建物が無い

調査地点 国道 507 号 字富盛付近

沿道景観写真

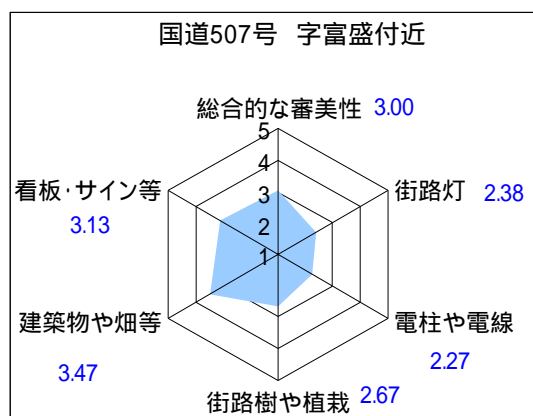
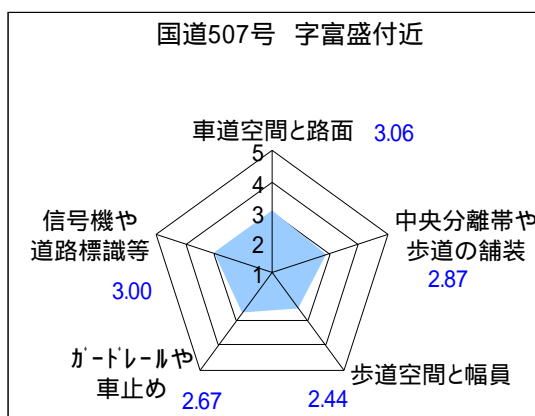


北向け



南向け

景観評価結果



景観阻害要因	電線・電柱（4票） 片側のみの植栽（4票） 歩道が狭い（4票） 雑草（2票） 車道の消えかかった線 拡張の時に花を加えてほしい
沿道景観として評価できる要素	畑（空間が広がる、季節を感じる）（5票） 奥行き 片側の並木 車道としてはこのままで良い

調査地点 県道 52 号線 字世名城付近

沿道景観写真

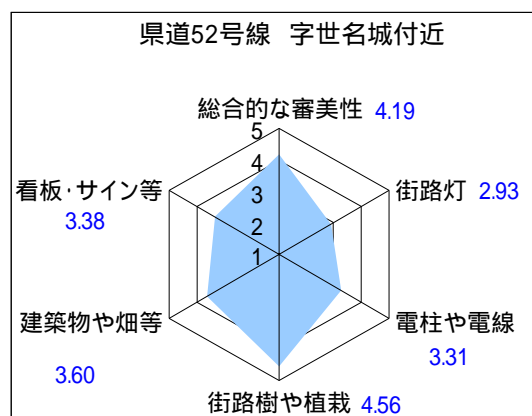
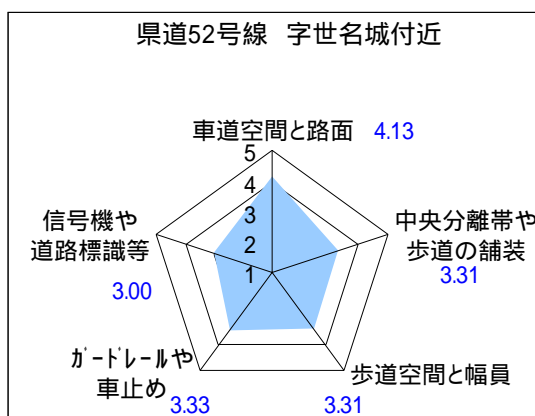


西向け



東向け

景観評価結果



景観阻害要因	電線・電柱（3票） 歩道が狭い 道路幅員が狭い 雑草 木で標識が見えなくなるのでは
沿道景観として評価できる要素	街路樹のソウシジュ並木（10票） 緑豊か（2票） 畑 無人販売の建物

調査地点 県道 77 号線 字東風平付近

沿道景観写真

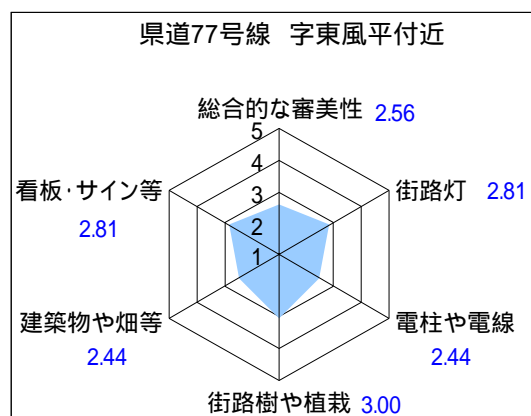
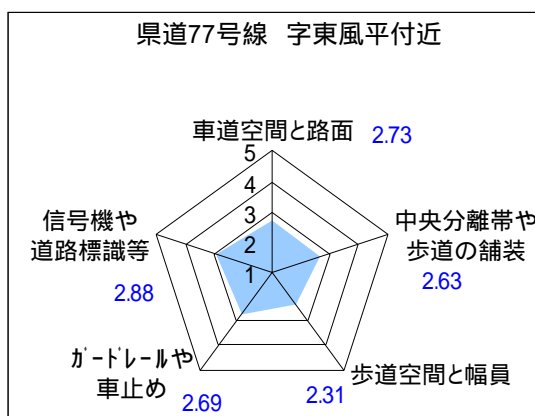


西向け



東向け

景観評価結果



景観障害要因	電線・電柱（6票） 歩道が狭い（2票） 植栽に統一感が無い（3票） 片側のみの植栽 ベンジャミンはいずれ歩道を壊す 建築物に統一感が無い（3票） 色合いの悪い建物がある 左側の建築物 道路空間に圧迫感がある 道路の文字が消えかけている 道の舗装状況が悪い
沿道景観として評価できる要素	道路が直線なので見通しが良い

調査地点 具志頭交差点 (国道 507 号・331 号)

沿道景観写真

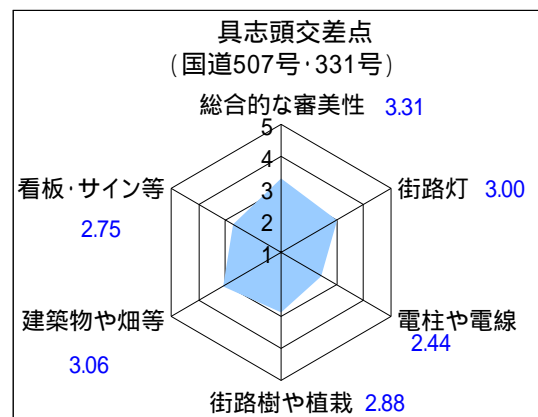
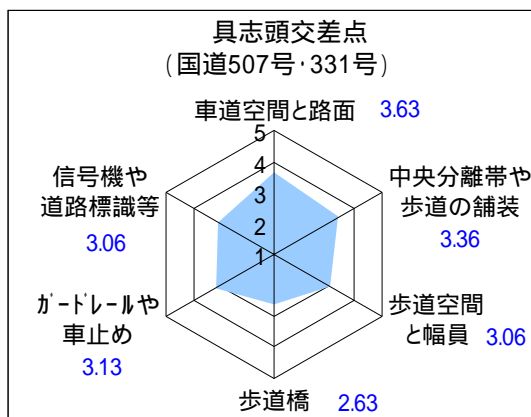


西向け



南向け

景観評価結果



景観阻害要因	<p>電線・電柱 (4 票)</p> <p>歩道橋 (4 票)</p> <p>交差点改良時に歩道橋のデザインを検討する必要あり</p> <p>看板が多い</p> <p>標識</p> <p>まだ未整備である</p> <p>道路空間が雑然としている</p> <p>コンクリートで閑散としている</p>
沿道景観として評価できる要素	<p>道路幅員が広い</p> <p>歩道がきれい</p> <p>住民が花を植えている</p> <p>整備されている感じがする</p>

調査地点 国道 331 号 字具志頭付近

沿道景観写真

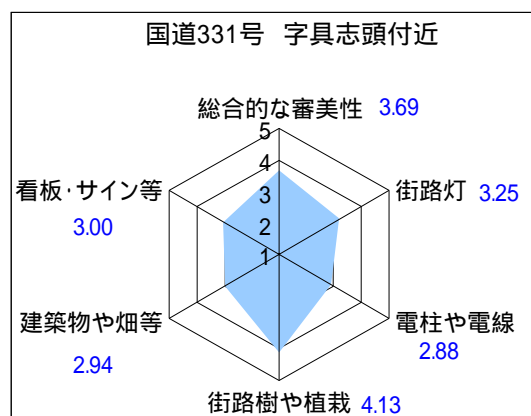
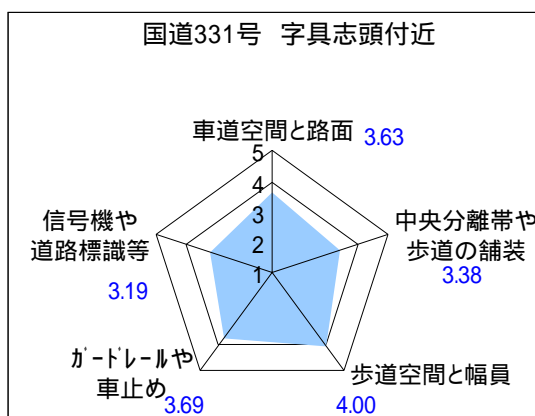


西向け



東向け

景観評価結果



景観阻害要因	電線・電柱（4票） 街路灯 道路標識 一部植栽が無い 右側と左側の植栽のバランスが悪い 建物の上の水タンク等 車屋の看板 シーサーが道路側にあるのがおかしい
沿道景観として評価できる要素	フクギ並木（7票） 赤瓦住宅（5票） 港川石（粟石）のガードレール

調査地点 国道 331 号 字玻名城～字安里付近

沿道景観写真

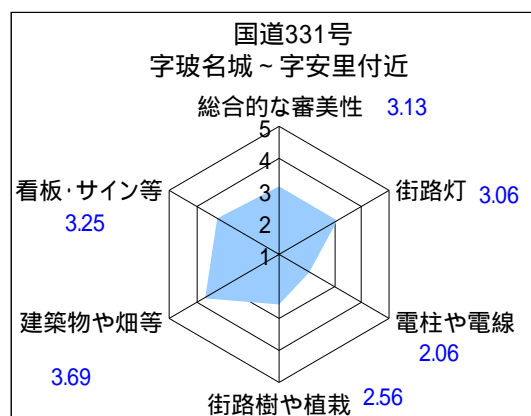
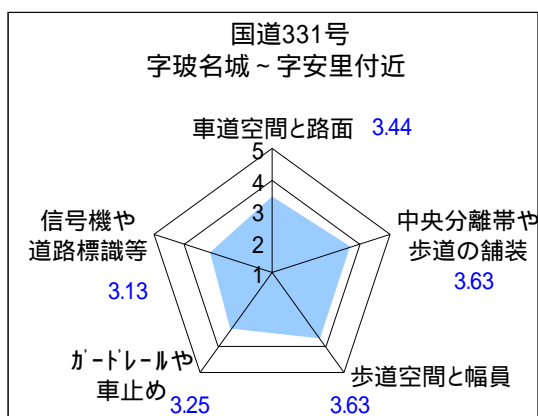


西向け



東向け

景観評価結果



景観障害要因	電線・電柱（7 票） 電柱を民地側に寄せればもっと道路空間が保たれる 街路樹が無い（5 票） コンクリート
沿道景観として評価できる要素	赤瓦屋根（5 票） 歩道の白いカラー舗装（3 票） 道路空間（2 票） 道路幅員が広く安全

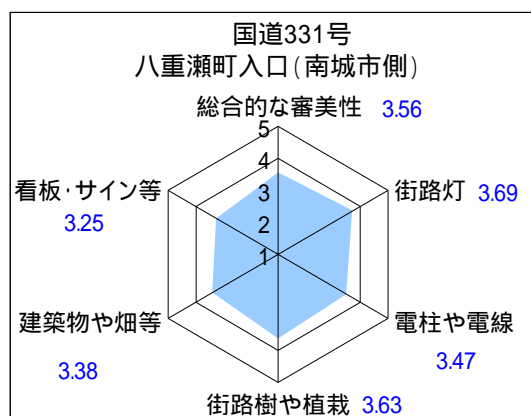
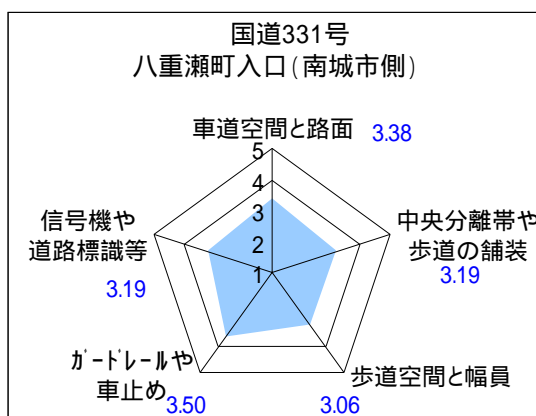
調査地点 国道 331 号 八重瀬町入口（南城市側）

沿道景観写真



東向け

景観評価結果



景観阻害要因	歩道が狭い（2票） 道路空間が狭い 植栽が維持管理されていない 街路樹の下の低木が邪魔 道路標識が目立つ 標識が見えない 街路灯がさびしい
沿道景観として評価できる要素	向陽高校の屋根（3票） 両側の植栽（2票） 茶色のガードレール 電柱・電線が無い 橋からの景色が良い

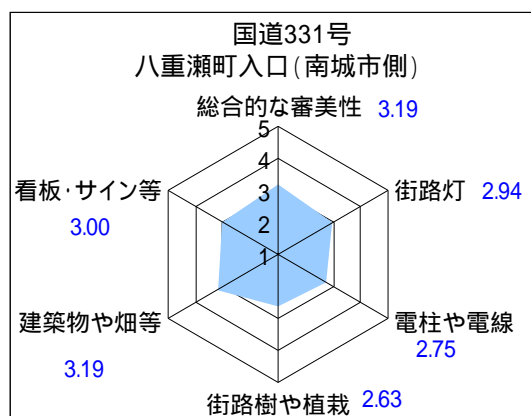
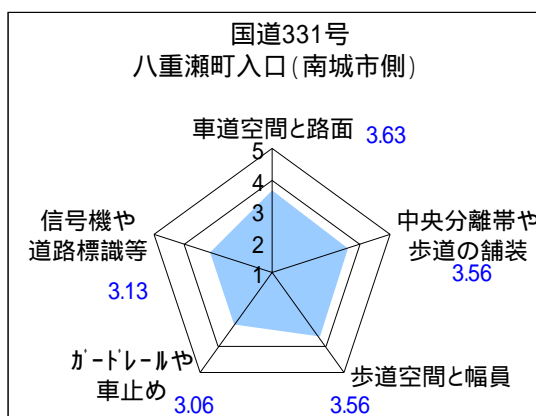
調査地点 国道 331 号 八重瀬町入口（糸満市側）

沿道景観写真



西向け

景観評価結果



景観阻害要因	電線・電柱（4票） 標識（2票） 看板 錆びたガードレール くねくねと曲がった道 急に無くなる歩道
沿道景観として評価できる要素	緑が豊か（2票） 田舎らしい木々 空間

調査地点 県道 15 号線 字仲座付近

沿道景観写真

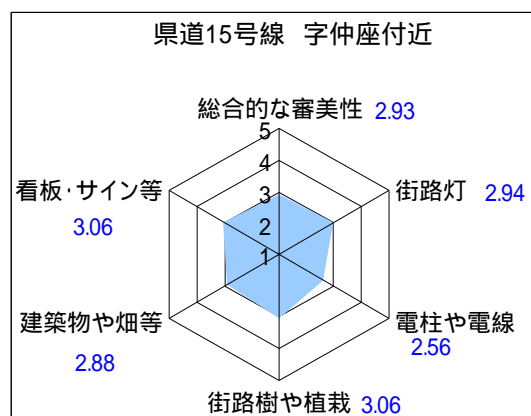
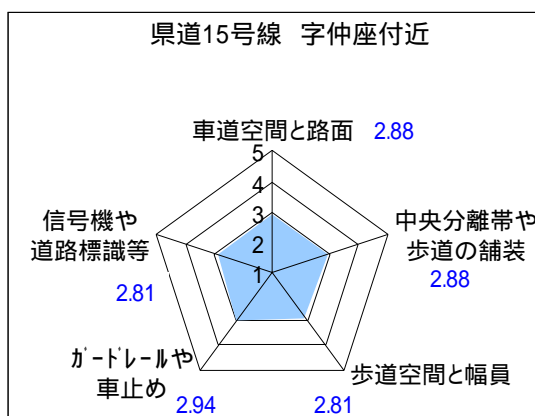


北向け



南向け

景観評価結果



景観阻害要因	電線・電柱（7票） 植栽に統一感が無い（3票） 歩道が狭い（2票） 雑草 ガードレール 道路に対して大きい標識 道の舗装状況 路面の線 建築物と畑の混在 道路沿いの土地に荒地が多い
沿道景観として評価できる要素	両側の植栽（3票） 街路樹が管理されている 田園風景